

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 6

2014.8.27 (No.2791)

第2560地区ガバナー／佐々木昌敏
 会 長／高橋 司
 会長エレクト／五十嵐晋三(クラブ奉仕A)
 副 会 長／川瀬康裕(クラブ奉仕B)
 幹 事／野崎喜一郎
 S A A／松永一義
 会 計／船越正夫

例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

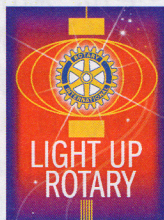
- 本日の出席会員数:55名中41名
- 先々週出席率:84.62%

【ゲスト】

・ 三条市立図書館 館長 高須陽介 様

【先週のメイクアップ】

- [8.20] 巻RCへ
・ 菊池 涉さん
- [8.21] 三条東RCへ
・ 菊池 涉さん
- [8.21] 加茂RCへ
・ 衛藤泰男さん、 斎藤弘文さん
- [8.21] 燕RCへ
・ 加藤紋次郎さん、 中村和彦さん
- [8.21] 三条ローターアクトへ
・ 高橋 司さん、 吉井直樹さん
- [8.23] R財団セミナー(新潟)へ
・ 高橋 司さん、 佐野勝榮さん
- [8.25] 社会奉仕委員会会議(小千谷)へ
・ 杉山幸英さん
- [8.26] 三条北RCへ
・ 衛藤泰男さん、 五十嵐晋三さん、
・ 西山徳芳さん、 斎藤弘文さん、
・ 加藤紋次郎さん、 山田富義さん、
・ 中林順一さん (7名)



「ロータリーに輝きを」

2014～2015年度国際ロータリーのテーマ



「横江の朝焼け」

会長挨拶

高橋 司 会長



皆さんこんにちは。
 本日卓話をお願いしました三条市立図書館 館長 高須陽介様 宜しくお祈りします。
 本日8月27日はパリ不戦条約が締結された日です。(1928年)

1914年第一次世界大戦が始まり1918年11月にドイツが降伏して1919年に終戦を迎えました。1919年のパリ講和会議で日本は国際連盟の規約に人種差別撤廃条項を入れるよう要求したが、アメリカ、イギリスを初めとする人種差別当たり前の白人諸国に反対され、否決された。ところが、第一次世界大戦での被害が莫大で、無差別に戦争を行えば世界は破滅に向かうとの反省が起こり、諸国間で「国際紛争を解決する手段として戦争を放棄する」との不戦条約が結ばれた。アメリカの国務長官ケロッグとフランスの外相ブリアンの名前から「ケロッグ・ブリアン協定」と呼ばれる。紛争は戦争ではなく平和的手段により解決すると規定された。「戦争放棄」を宣言しているために「戦争放棄に関する条約」というが、自衛の戦争は除くとされた。「侵略は悪である」と初めて定めた画期的な条約のはずなのだが、「侵略」の定義が「当事国の自国裁量権に任せる」とされた。つまり、その国が侵略戦争と認めれば侵略戦争、自衛戦争と認めれば自衛戦争ということになった。戦争にはお互いに言い分があるので、こういう規定

にしかならなかった。

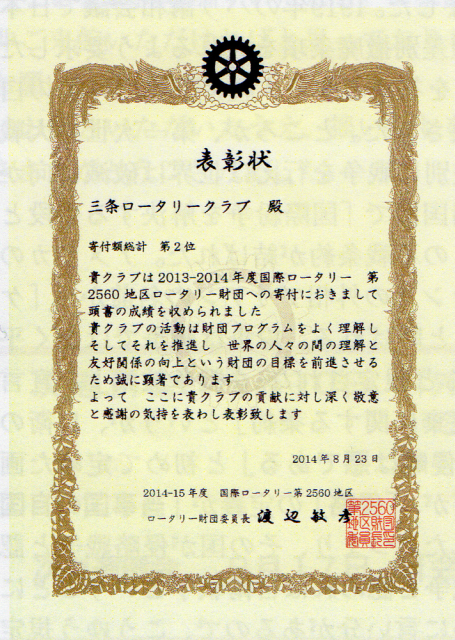
うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる

うばい合えば憎しみ わけ合えば安らぎ

相田みつをの詩のような精神であるならば、戦争は起こることなく平和な社会が続く事でしょう。

8月23日(土)新潟ANAクラウンプラザホテルに於いて、第一回ロータリー財団セミナーに財団委員長 佐野勝榮会員と共に出席してきました。

2013-2014年 山崎年度での寄付総計寄付額で第2位(17,790ドル) 年次基金1人当たり寄付額でも第2位(319.07ドル)で表彰を受けてまいりました。これは渋谷健一会員の大口寄付による表彰だと思っております。渋谷健一会員ありがとうございました。通常100ドルの寄付ですが、今年のガバナー目標1人50\$UPの150\$と発表がありましたのでよろしく願います。



幹事報告

野崎喜一郎 幹事

◎佐々木ガバナー事務所より

「9月ロータリーレートのご案内」

9月1日より 1ドル = 102円 (現行)

◎佐々木ガバナー事務所より

「ロータリーデー開催のご案内」

開催日 10月12日(日)

※スケジュールは配布資料をご確認ください。

会場 長岡市山古志体育館(旧山古志村役場)、
中越メモリアル回廊

締切日 9月20日(土)

ニコニコBOX

高橋 司さん

三条市立図書館 館長 高須陽介様、卓話ありがとうございます。

西山徳芳さん

松本市のサイトウキネンオーケストラに行ってきました。偶然に運良くチケットが手に入ることができ、幸せでした。

小越憲泰さん

このところ、朝はめっきり寒くなりました。お互い健康に気をつけましょう。

吉井直樹さん

昨日、福島只見町へ行って来ました。片道3時間半の行程です。八十里越えの開通を切に願います。本日、高須様宜しくお願いします。

樺山 仁さん

日本文理にもう一勝させたかったです。残念でした。本日の卓話、高須様に期待しております。

外山雅也さん、	明田川賢一さん、	杉山幸英さん、
斎藤真澄さん、	中林順一さん、	川瀬康裕さん、
小出子恵出さん、	五十嵐晋三さん、	五十嵐博宣さん、
会田二郎さん、	若槻八十彦さん、	金子俊郎さん、
渡辺勝利さん、	松永一義さん、	野崎喜一郎さん、
中村信一さん、	五十嵐昭一さん、	丸山行彦さん、
渡辺良一さん、	歸山 肇さん、	成田秀雄さん、
米山智哉さん、	野地貞儀さん、	石橋育於さん、
斎藤弘文さん、	荻根澤隆雄さん	

三条市立図書館 館長 高須陽介様、本日は卓話ありがとうございます。お話し楽しみにしております。

8月27日分	¥ 31,000
今年度累計	¥ 195,000

「卓 話」

「三條市立図書館とお勧めしたい図書を紹介」



三條市立図書館 館長 高須陽介 様

ただいまご紹介に預かりました高須陽介と申します。よろしくお願いたします。

昨年2月末に前任者から引き継いで館長を勤めさせていただいております。ちなみに、図書館の隣

に在ります三條市歴史民俗産業資料館の館長も兼ねて勤めさせていただいております。

今年の6月に、三條ロータリークラブ様から三條市長を通して蔵書充実に向けた寄付金を頂戴いたしました。本年度、図書館栄分館でサービス向上を目指して「しかけ絵本」の充実を図っております。頂戴したご厚志は、この「しかけ絵本」の購入に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

このことをご縁に、本日お招きいただいた次第です。ご覧になってのとおり、髪にも大分白いものが目立つようになっております。若輩者と言うにはだいぶ臺が立ち過ぎております。立派な肩書きを託されて職務も重責を任されておりますが、それに相応しい見識や経験を持っているかと問われると、甚だ心もとないところでございます。そのようなわたくしが、人生経験が豊かで、実社会でも既に指導的立場にいらっしゃる皆様の前で、お話しをさせていただくのは大変心苦しいのですが、幹事様からご指名を頂戴しましたので、しばらくお話しをさせていただきます。どうかご容赦ください。

【三條市立図書館の運営及び管理について】

さて、先ほど渡辺様からご案内いただいたとおり、現在、三條市立図書館の運営及び管理は指定管理者として民間事業者の「図書館流通センター」が請け負わせていただいております。

指定管理者制度は、地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、民間企業などにも包括的に代行させることができる制度で、平成15年施行された地方自治法により法的に認められることとなっております。ただし、この制度を適用して公の施設の包括的な運営及び管理を代行させるかどうかは、自治体ごとの判断に委ねられています。三條市では、平成20年度から三條市立図書館にこの制度を適用して民間業者の当社にお任せいただいております。ちなみに、代行期間は5年を単位として、平成20年度から5年間の館長を前任者が勤め、2期目の昨年度からわたくしが引き継いだ次第です。

【本を展示した蔵書の紹介について】

先ほど、会長の高橋様のお話しがございましたが、その中で、今日は第1次世界大戦後に国際的な不戦条約が結ばれた日との紹介がございました。今日が、そのような日だとは知りませんでした。会合にお招きいただいたうえに、新たな認識を得ることができ感謝しております。

図書館では、「今日は何の日」という展示を行っております。毎日、何かしらの記念日が制定されています。それに因んだ内容の図書館の本を展示して紹介しているものです。図書館は知の殿堂として多くの本があるのはよいが、何時いっても同じに感じられる、こんな感想を持つ方に尋ねる度に新たな発見があるようにとの思いで続けているものです。毎日、何の記念日か紹介したシートと本を並べて展示しています。また、前日までに紹介したシートをバインダーに綴り置いてあります。是非、皆様もご来館のうえご覧いただければと思います。

三條市立図書館では、この他に特集展示と称して棚に納めている本の中からテーマを決めて抜き出して集めて紹介するようにしています。

【図書館の蔵書数について】

三條市立図書館は元町にある本館、栄分館、下田分館、更に規模の小さい分室として嵐南分室と、諸橋轍次記念館内に漢学の里分室と5つの施設があり、それらの蔵書を合わせると約33万冊の蔵書があります。ちなみに、33万冊を365日で割ると約904冊となります。一人の方が1年間で図書館の蔵書を全て読もうとすると1日904冊読まなくてはならない計算となります。とても現実的な数字ではなく、また、更に時間を掛けても何をどのように選んだらよいかも難しいところだと思われまます。

【レファレンス・サービスについて】

そこで、「今日は何の日」などの特集展示などで本の紹介をしています。また、図書館カウンターでは読書相談や、図書館の蔵書を利用して疑問や課題を解決するお手伝いをさせていただいております。これをレファレンス・サービスと呼んでおります。図書館にいらして本を読んだり借りたりするだけでなく、読書や本を使った調べものの相談もなさってください。

【お勧めの一冊】

そこで、今日はお勧めの1冊として『ソロモンの指環』を紹介させていただきます。

著者は、オーストリアの動物学者、コンラート・ローレンツ博士です。ローレンツ博士は、“刷り込み”

というものを発見したことで有名です。鳥のヒナが卵からかえるとき、初めて目にしたものを親だと思ふ、という現象を発見しました。「氏か育ちか」という問題、課題に一石を投じたのが、“刷り込み”というものを発見して提唱した本書の著者のローレンツ博士です。氏でも育ちでもない、その二分法ではとらえられない、“刷り込み”という現象があることを示してみせました。ローレンツ博士は、この「刷り込み」理論を提唱し、動物行動学をうちたてた功績でノーベル賞を授与されました。

鳥のヒナが卵かえってすぐに周りにあるものを見ることができるのは生まれつきの能力といえます。また、その時、初めて見たものを親だと思ふというのも生まれつきのものです。ただし、それは生まれたあとに起きることです。つまり、初めて見たものを親だと思ふという生まれつきのものが後天的に起きるわけです。ですが、これは体験にもとづいて学習されたものではありません。まるで、その時1回だけ記録スイッチが入り親を記録して、以降、それに従い行動するといった現象です。

随分と難しい話しを、学術的な本を紹介しているように思われたかもしれませんが、この本の背景となることをご案内させていただきただけで、この本自体は、時にユーモラスに動物と博士との交流を短い章にわけて語った読みやすい本です。このような分野の本で、読みやすいものを手にする機会が少ないのではないかと思います。紹介させていただきました。

【図書館利用のお願い】

三条市立図書館では多様な本との出会いと、本を活用した様々な課題の解決をお手伝いさせていただいております。本日、配らせていただいた図書館の利用案内などをお持ち帰りいただき。ご家族様ともども是非ご来館いただければと思っております。よろしく願いいたします。

本日はお招きいただいたうえ、拙い話しをお聞きいただきありがとうございました。

9月のお祝い



◎会員誕生祝

- 6日 渡辺勝利さん
- 13日 杉山幸英さん
- 19日 外山雅也さん
- 20日 山田富義さん

◎夫人誕生祝

- 1日 衛藤蓉子さん (泰男さん)
- 22日 斎藤昌子さん (弘文さん)

◎結婚記念祝

- 24日 渡辺良一さん (ひとみさん)

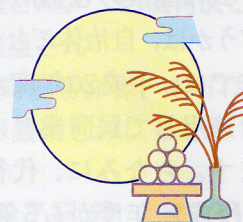
◎100%出席賞

- 20年 山田富義さん
- 10年 小出子恵出さん

次週例会 9月10日 「外部卓話」

三条市総合型地域スポーツクラブ

りんぐる 山田靖子様



次々週例会 9月17日 「会員卓話」 宮本信秋 会員